



横浜市立富岡小学校

# 学校だより 6月号



## ともに みとめあい おしえあい かがやこう！

副校長 松口 真人

職員玄関前では、ツバメが元気に飛び回り、学校の紫陽花も少しずつ色づき咲き始めました。

今年度、富岡小学校に着任いたしました、副校長の松口真人です。浅野校長をはじめ、教職員とともに力を合わせて、チームとして精一杯努力してまいります。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

5月28日（土）に行われた運動会に向けて、子どもたちは、4月から徒競走のタイムを計ったり、ダンスの練習をしたりと、様々な活動に取り組んできました。運動会当日には、富岡小学校の学校教育目標の「ともに みとめあい おしえあい かがやこう」にある、子どもたちが、楽しみながらも、真剣に演技や競技に取り組んでいる「かがやく」姿が、たくさん見られました。

当日だけでなく、練習でも「ともにみとめあい、おしえあう」子どもたちの姿がたくさん見られました。

徒競走の練習では、友達が一生懸命走っている様子を見て、声援を送り、走り終わると大きな拍手で友達のがんばりをたたえていました。

低、中、高学年のブロックでの演技練習では、上の学年の上手な動きを見て、下の学年が振りを学びました。高学ブロックでは、6年生が先に覚えたソーラン節の振りを5年生に教え、アドバイスしていました。

応援団は、それぞれの組で応援の仕方を考え、全校のみんなに伝え、仲間とともにがんばろうという気持ちを高めていました。堂々とした勇ましい応援団の姿を見た子どもたちから「応援団に入りたいなあ。」という声が職員室に聞こえてきました。

また、リレーの選手たちは、チームごとに集まり、休み時間に自主的にバトンパスの練習をしていました。バトンパスの様子を互いに見合っ、アドバイスを送り、教え合う姿が素晴らしかったです。

今年の運動会を通して、子どもたちを成長させる大きな力が運動会にはあるのだということを改めて感じました。とくに、5、6年生の児童は、一人一人が係の仕事を担い運動会を運営しました。係が動かなければ運動会は成功しません。5、6年生が、きちんと準備をし、当日も自分の仕事に責任をもって取り組み、「さいごまで いっちだんけつ こころにのこる うんどうかい」となりました。

保護者の皆様には、本番当日に至るまで、物心両面でのご支援、ご協力をいただき、心より感謝いたします。これからも本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

### 熱中症予防とマスク着用について

本校では、熱中症による健康被害が発生するリスクなどを考慮して、登下校中、熱中症の危険性がある場合には、マスクを外すように指導しております。子どもたちの健康を守るために、ご理解の程、よろしくお願いいたします。